

首都大学東京における観光・自然ツーリズムのコース設置について

～ 「観光」と「自然ツーリズム」のプロを育成 ～

首都大学東京は、都市環境学部及び大学院の都市環境科学研究科に「観光」と「自然ツーリズム」を学ぶ新たなコースを、平成20年度に設置します。コースの概要と特徴は以下のとおりです。（詳細は、別紙を参照してください。）

○ 学部の概要

- <名称> 『自然・文化ツーリズムコース』
- <設置形態> 都市環境学部に、3年次から進級するコースとして設置
- <設置時期> 20年度 コース設置・専門分野の授業科目を開講
22年度 3年次の学生がコースに進級
- <学生数> 1学年 15名（3・4年次全体 30名）
- <キャンパス> 南大沢キャンパス

○ 大学院の概要

- <名称> 『観光科学専修』
- <設置形態> 都市環境科学研究科 地理環境科学専攻内に設置
- <設置時期> 20年度 博士前期課程に入学
22年度 博士後期課程に入学
- <学生数> 博士前期 1学年 10名（2学年全体 20名）
博士後期 1学年 3名（3学年全体 9名）
- <キャンパス> 南大沢キャンパス

※入試科目などの詳細は、19年6月頃に発表します。

コースの特徴

☆ 教育・研究

- ホテル業、旅行業などの伝統的観光産業から、「まちづくり」「自然環境」までを対象にした「新しい観光科学」を学びます。
- これまでの文科系の学問中心の観光学に、理学、都市工学、情報学の手法を導入します。

☆ 育成する人材

- 国や自治体等で企画立案やマネジメントを行うことができる「観光」のリーダーを育成します。
- 公共部門や民間部門において自然環境の保護・適正利用に携わる、レンジャーやその他の専門家など、先導的・実践的な人材を育成します。

問い合わせ先

首都大学東京経営企画室教育研究支援課

(042)677-1193

コースの特徴（詳細）

【コンセプト】

- 世界遺産から里山・公園までを含む「自然環境」や遺跡から都市の街並みなど身の回りの「文化環境」の魅力を発見、理解、保全、適正利用することにより人々が自然・文化等の魅力を享受できる仕組みを作り、持続する豊かな社会の創造に寄与することを目的とします。

【教育・研究】

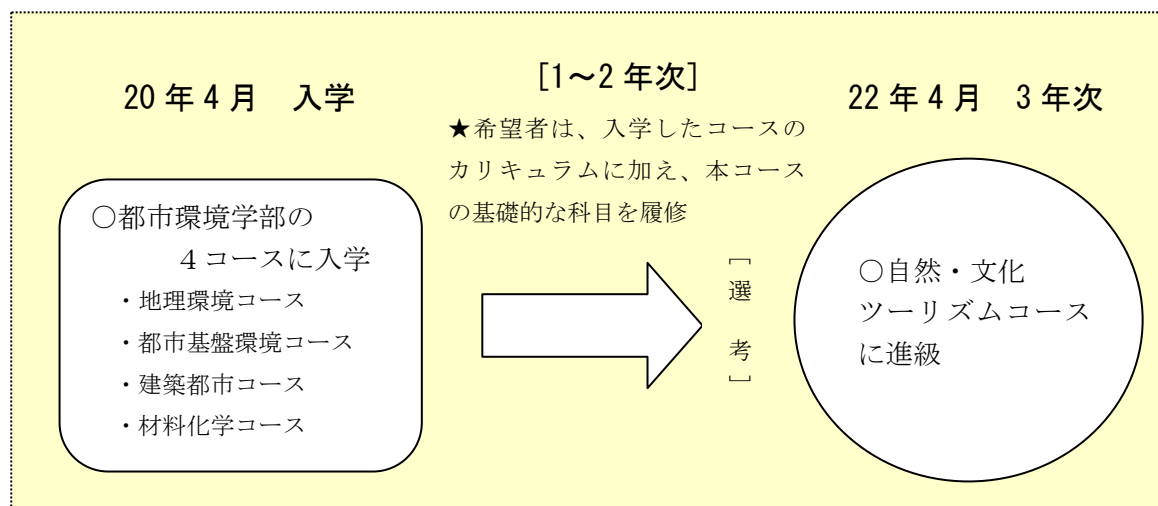
- 都市再整備、水辺空間、都市景観等の「まちづくり」や世界遺産から身近な自然（里山、自然公園など）までの「自然環境」を対象にした「新しい観光科学」を学びます。
- 語学や経済学など文科系の学問中心のこれまでの観光学に、理学、都市工学、情報学の手法を導入し、地理学（地域環境）、生態学（環境生態）、観光計画学、観光まちづくり、観光情報学を総合的に学びます。
- インターンシップやプロジェクトベースト・ラーニング型の演習をカリキュラムに導入することで、課題発見・解決手法の修得を図ります。

【育成する人材】

- 国や自治体の政策、観光事業、大規模コンベンション等を企画し、マネジメントを行うことができる「観光」のリーダーを育成します。
- 公共部門や民間部門において自然環境の保護・適正利用に携わる、レンジャーやその他の専門家など、先導的・実践的な人材を育成します。
- 認証資格 都が独自に定め、認証する自然の保護と適正利用の担い手としての資格（現在、創設に向けて検討中）の取得に必要な科目を修得することができます。

☆ 学部『自然・文化ツーリズムコース』の進級方法

- 学部は、3年次から進級するコースとして設置します。
 - ◇ 都市環境学部の4コースの学生が、2年次修了時点でコースを選択し、3年次から進級します。
 - ◇ 1・2年次に学んだ地理学、建築学、都市基盤環境学などの基礎的な知識を活かして、様々な角度から観光科学を学ぶことができます。



カリキュラム

～ 5つの主要な分野から総合的な力を養成します ～

☆ 観光計画

観光産業、観光事業、地域計画など伝統的な観光学を学びます。

- 主な科目・・・観光総論、観光論、観光計画論など

☆ 観光まちづくり

都市工学的視点から都市を読み解き、魅力ある都市・地域づくりを学びます。

- 主な科目・・・都市観光まちづくり論、景観論など

☆ 観光情報

G I S、地図解析など地理的な情報分析と観光情報学を総合的に履修し、情報の発信方法を学びます。

- 主な科目・・・観光情報学、観光情報学演習など

☆ 地域環境

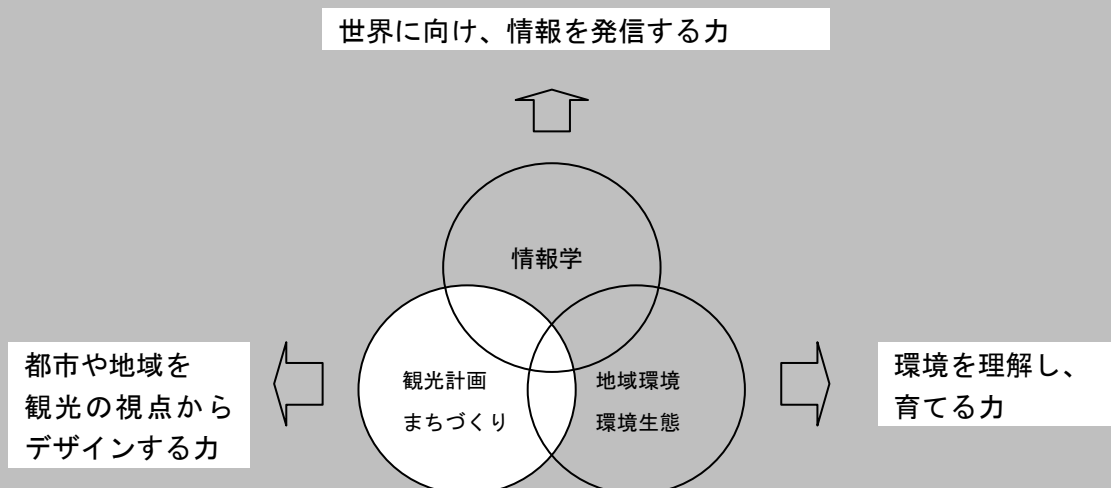
地理学的視点から、エコツーリズムやルーラルツーリズムなど環境資源の保全保護や適正利用の方法を学びます。

- 主な科目・・・自然ツーリズム概論、地域環境学、地域環境学演習など

☆ 環境生態

生態学的視点から、環境と人間を含むすべての生態系の関わりを学びます。

- 主な科目・・・環境生態学、環境生態学演習など



～ 具体的な課題を徹底的に実習します ～

☆ インターンシップ

都市観光の最前線（観光行政当局、観光協会、ホテル）や東京の豊かな自然環境（小笠原、伊豆諸島、奥多摩、高尾）など現場を体験することで、実践力を養います。

☆ PBL

自分自身で具体的な課題を設定し、解決策を組み立てるプロジェクト・ベースト・ラーニング型の演習により、課題探求能力を涵養します。

※科目名は、今後、変更することがあります。